

平成28年5月25日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午前 9時00分
閉会 午前10時45分

2 出席委員

田 中	教育長
関	教育長職務代理者
吉 岡	委 員
江 口	委 員
若 本	委 員

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

山 本	教 育 部 長
白波瀬	次長兼総括指導主事
吉 村	教育総務課長
土 岐	学校教育課長
河 原	社会教育課長兼中央公民館長
大 西	社会教育課人権教育担当課長
藤 木	教育研究所副所長
永 田	学校給食センター所長
中 川	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

平成28年4月26日に開催した定例会の会議録について承認した。

（３）教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ ５月１日に亀岡市ラグビー祭が亀岡運動公園で開催され、タグラグビー交流会や女子１５人制交流試合などが行われた。
- ・ ５月３日に亀岡光秀まつりが行われ、亀岡市からも新規採用職員が参加した。
- ・ 亀岡市立小中学校長幼稚園長会議が５月６日に開催された。教育行政にもエビデンスが求められる時代になり、学力テスト等の分析をしっかりと行うようお願いした。
- ・ 人権啓発推進協議会幹事会が５月９日に、またＰＴＡ連絡協議会総会が５月１４日に開催され、それぞれ平成２７年度の活動報告と決算並びに平成２８年度の事業計画と予算の報告が行われた。
- ・ 会計検査院による会計実地検査が５月１８日・１９日に行われた。学校耐震化、亀岡川東学園建設、スクールバス、文化財の国分寺跡について検査を受けたが、特に指摘はなかった。
- ・ ５月２２日に、第１回かめまる杯争奪亀岡フライバレーボール大会が開催された。
- ・ ５月２３日に、亀岡市総合教育会議が開催され、市長と副市長の出席のもとに教育施策の重点項目について意見交換を行った。
- ・ ５月２４日に、ＰＴＡ母親代表委員会の総会が開催された。

◎国・府等の関係

- ・ ４月２８日に京都府都市教育長会議が行われた。今年は南丹市が当番市で、総会の後、美山かやぶきの里で現地のスタッフから説明を受けた。
- ・ 京都府教育委員会連合会の幹事会が５月１０日に開催された。亀岡市の教育委員会は新制度に変わったが一部では旧制度のところもある。これまで、委員長が会長を務めていたが、新制度移行に伴い教育長が務めていくことが昨年決まり、今回新しい会長の選出を行った。
- ・ ５月１１日に南丹教育委員会連絡協議会総会が、丹波自然運動公園で開催され、トレーニングセンターの整備について説明等を受けた。先日、口丹波体育連盟の会長が来られた時に、ぜひ地元の小学生・中学生が使えるように、また事前に教職員にも研修を受けられる機会を作ってほしいとお願いしていた。今年は順番で亀岡市が会長をすることになった。
- ・ ５月１９日・２０日に全国の都市教育長協議会が徳島で開催され、文部科学省の平成２８年度事業の説明等を受けた。亀岡市と同様に学校規模適正化の課題について、意見交換する場があって有意義な会議であった。

○教育長報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

委 員 かめまる杯争奪亀岡フライバレーボール大会が、今回初めて開催された。フライバレーは亀岡発祥のニュースポーツでもあり、約30チームが参加して盛大に行われた。隣でソフトバレーも行われていた。

委 員 第1回ということであるが、フライバレーの協会が主催なのか。

委 員 そうである。かめまる杯としては第1回だが、それまでから行われていた大会である。

委 員 どういう年代が参加しているのか。

委 員 20歳代から50歳代くらいが多いように思った。

委 員 亀岡光秀まつりは、市教委としては何か取り組んだのか。ブースを出したりしたのか。

教育長 基本的には実行委員会の組織に入るという形で参加している。ブースは出していない。
実行委員会から、市内の高等学校の吹奏楽部にパレードの先導をお願いしている。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第2号議案	亀岡市社会教育委員の委嘱について

○第2号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第2号議案は、社会教育法及び亀岡市社会教育委員設置条例の規定により、社会教育委員を選任するため、教育委員会の同意を求めるものである。任期については、平成28年7月1日から平成30年6月30日まで、定数は12人とし、再任と新任をそれぞれお願いするものである。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 社会教育委員は、充て職か。

事務局 各団体に推薦をお願いし、推薦をいただいた。

委 員 社会教育委員の任務は。

事務局 社会教育関係事業の推進を目的として、指導助言をいただく方である。子ども会、女性の地位向上等個人的に活動されている方が多く、研修や南丹管内の会議等には出席いただく。主に、個々の活動をされている方である。

委 員 男女比の問題や長く務めている委員もいるので、差し支えなければ、名前の他に性別や年齢も表記できないか。

事務局 特に性別や年齢は問題ないので表記していく。

教育長 行政委員会等での男女比の問題はよく指摘される。女性の参画ということで社会教育委員でもそういう配慮をしながら進めていかなければならない。それぞれ所属もあるがどういった活動をされているのか情報として持っておく必要があると思う。

○第2議案について原案どおり承認した。

(5)報告事項

- ①亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会について
- ②平成27年度公立中学校卒業生徒の進路状況について
- ③平成28年度「人権教育講座」「人権教育指導者研修会」について
- ④平成28年度「高齢者さわやか教室」について
- ⑤平成28年6月教職員研修講座のお知らせについて
- ⑥夏休み親子で理科探究応援教室（募集）について

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会について>

委 員 東輝・詳徳中学校ブロックは、安詳小学校の過密化解消などを中心に行うとのことだが、亀岡中学校へ行っている上矢田町と下矢田町の対応はどうするのか。

事務局 ブロック協議会で必要があれば亀岡地区東部の自治会長や関係学校長に出席いただき、同じテーブルで協議していただく。

委 員 亀岡地区東部はエリアが広いので、メンバーの選考をしっかりと

おく必要がある。

事務局 上矢田・中矢田・古世・北古世がつつじヶ丘小学校の校区になり、亀岡地区東部の自治会の範囲になっているため、亀岡地区東部の自治会長にお世話になりたいと考えている。

委 員 亀岡地区東部の自治会では、一部の地域の状況を把握されているのか。

事務局 関係市議会議員も入っていただくなど、その地域の状況を把握されている方もあるので御意見がいただけると考えている。

教育長 何十年という歴史があるものを変えていこうとするもので、地元の意見は十分に集約しながら、自治会長だけでなくPTAも含めて色んな形で意見をいただく。

委 員 ブロック協議会の中に関係市議会議員を入れた意図は。

事務局 市の設置する審議会・協議会では、市議会議員を入れない形で進めることが多いが、校区の再編や統廃合となると地域の意見を十分にまとめる必要がある。そこにお住いの市議会議員に入っていただき、その地域の御意見としていただきたい。

委 員 協議会の委員の任期は。自治会長やPTA会長、行政においても人が毎年変わるが、継続的な活動はできるのか。

事務局 ブロック協議会も1年で済むところや、3～5年かかるところもでてくるのではないかと考えている。委員の任期は規約上定めていない。人数も多く、全員が出席できるような日程調整ができないため、その団体からの代理出席も可能としている。

教育長 団体の会長の多くは1年任期となっているので、人が変わっても仕方がない。しっかりと引き継いでいただくようお願いする。ブロック協議会については、地域密着で進めていくことから、ある中学校だけ欠席で会議するのでは、地域の思いが聞けなくなるので、校長が都合悪ければ教頭等に出席していただく等、継続性をできる限り担保していきたい。

委 員 コンセンサスを得るということでは、揉めることもあると思うが、ブロック協議会は、地域の方も傍聴はできるのか。

事務局 希望者があれば席を用意する。

委 員 地域の関係者など役職者が勝手に決めてしまったとならないように、少しオープンにするほうがよい。これから小学校へ上るような子を持つ親は関心がある。

教育長 近年、大きな会議は公開が原則となっている。個人の情報があるときは、公開を差し控えるが、基本的には会議は公開でいきたい。

<平成27年度公立中学校卒業生徒の進路状況について>

委 員 公立高校は希望した人は全員進学できているのか。普通科の倍率は。

事務局 前期選抜はかなりの高倍率となるため不合格となるほうが多い。中期選抜は1.1倍を少し超えている。

委 員 私立への進学率は35%であり、希望して私立にいつていると思うが、公立を不合格になって私立へいったものはいないのか。

事務局 数としては少ない。前期選抜を不合格となり私立にいったものは、志望順位が最初からそうであった。

教育長 公立高校の3月に行われた中期選抜の入試は、口丹波エリアは全体では定員割れをしている。今年の3月については亀岡高校・南丹高校は両校ともに定員を超えた。不合格者がわずかであるが出ている。

委 員 亀岡市としては、南丹・亀岡の両高校との連携を図ったりしていないのか。

教育長 情報交換はしている。

委 員 資料の人数比較は子ども全体の数が減っているので、意味がないのではないか。

事務局 子どもの数が減る中、合格者は昨年度とほとんど変わらないので、今回は数の比較でも問題はない。

委 員 退学率のデータはあるのか。

教育長 府立高等学校では中退率は出している。退学はほとんどない。辞めて別の学校に行く場合は、学籍上転学となる。

委 員 私立高校へ進学する場合は、最初から私立なのか、公立をあきらめて私立なのか。

事務局 そういう調査はしていない。

委 員 大学進学等の高校進学後の進路は把握しているのか。

事務局 個別の状況は調べていない。

<平成28年6月教職員研修講座のお知らせについて>

<夏休み親子で理科探究応援教室（募集）について>

委 員 教職員研修講座の時間設定の考え方は。

事務局 基本的には先生の参加できる時間で設定している。

委 員 市民の中には、教育研究所は何をしている所かという声もある。アクセスも悪く、閑散としているイメージがある。広く子育て中の親も参加できるものがあればいいと思うが。

事務局 今後検討していく。

委 員 申込み方法が、電話かファックスとなっている。今後インターネット申込みなども考えてもらいたい。

（６）その他

①亀岡川東学園のバスロータリーの整備について

（７）閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上